

川口市立アートギャラリー・アトリアから、10代の皆様に向けた広報誌

🚩 アートのツール・マテリアル展

2023年7月29日(土)～8月16日(水)

日本画、水彩画、油彩、彫刻など6つのジャンルの作家が愛用している道具、顔料や鉄などの素材と、その作品を紹介しました。

普段はなかなか見ることができない試し描きやラフスケッチなど、作家の試行錯誤の様子やこだわりに触れられる展覧会となりました。



👑 コラージュでつくる森の動物王国

2023年7月30日(日)～8月16日(水)
ワークショップ:7月30日(日)、8月3日(木)、8月10日(木)

講師:奥村拓郎さん

コラージュで動物を作るワークショップを開催しました。

アクリル絵の具でオリジナルの色紙を作り、その色紙を使って好きな動物を作りました。ペインティングナイフや筆などの道具を使い、様々な表現を楽しみました。

作品は展示室の大きな森に8月16日まで展示しました。



👑 人とデザインのはなし 「性質の彫刻」展 by BRANCH

2023年8月20日(日)～9月2日(土)
ワークショップ:9月2日(土)

講師:長崎綱雄さん

ホースやスポンジ、シャープペンなど普段使ったり目にしたりする工業製品や道具が、その意味や役割を超えてアート作品となり、美しさや面白さが伝わってくるような展覧会となりました。

最終日に行われた BRANCH 主宰・長崎さんによるワークショップでは、ビー玉や自在ホウキを使用し、それぞれの「性質の彫刻」を試みました。



🚩 第31回水道ポスターコンクール 入賞作品展示会

2023年9月6日(水)～9月10日(日)

水道ポスターコンクールは、小学4年生を対象に水道への理解と学習の機会をひろげるために1992年より毎年開催され、今年は31回目を迎えました。

水道や「水道水 安心・安全 これからも」の slogan をテーマに募集されたポスターの中から、61点の優秀作品を展示しました。

主催:川口市上下水道局



準特選 (在家小学校) 佐々木 瑛大さん
特選 (芝西小学校) 富田 みらいさん
市制施行90周年記念特別賞 (在家小学校) 宮崎 未彩さん

🚩 美術講座「日本の伝統工芸と染色」

2023年9月16日(土)、9月23日(土)

講師:西耕三郎さん

今年90歳を迎えた現役の染め師西耕三郎さんを迎え、染色の体験と講義を行いました。顔料を使った染色体験では筆や木の枝を使って線を描いたり、スポンジをスタンプのように使ったりしてそれぞれ個性豊かな作品が仕上がりました。講義では、染色の技法や日本独自の色のお話がありました。



👑 写真史家に学ぶ! アート写真と撮影のコツ

2023年9月17日(日)

講師:打林俊さん

写真史家・写真評論家の打林俊さんをお招きし、日本の美術品がどのように写真として残されてきたかについてなど、写真の歴史の講義と、参加者が実際にアート作品を撮影する講座を開催しました。

川口西公園にある「WAVING FIGURE」(作:建島寛造)など3点の作品を撮影し、川口にある屋外作品の魅力を再発見しました。



ごあいさつ

こんにちは。清々しい秋晴れの日が続いていますね。芸術の秋という言葉があるほど、この時期はさまざまな展覧会やイベントが行われています。

アトリアでは、11月3日から26日まで、川口市制施行90周年・旧田中家住宅100周年記念展覧会「盆栽 BONSAI - 川口の盆栽と安行の四百年 -」を開催します。市内の盆栽園をはじめとする方々にご協力いただき、たくさんの盆栽を展示します。

さて、10代の皆様に向けた ATLIA NEWS for TEENS の第2号をお届けします。今回のアーティストインタビューは、川口市出身のプロダクトデザイナー 長崎綱雄さんです。ほかには、7～9月にかけて行ったイベントや今後のイベントについても紹介しています。気になるイベントなどがあったら、ぜひ、おかけください。



01.

ごあいさつ
今後のイベントスケジュール
スタッフのこぼなし

02.03.

長崎綱雄さんインタビュー
アートギャラリー・アトリアの今後のイベント

04.

開催講座・展覧会レポート
SNSやってます!
施設案内
編集後記

今後のイベントスケジュール

11月	12月	1月	2月	3月
11/3 - 11/26 川口市制施行90周年・旧田中家住宅100周年記念展覧会 盆栽 BONSAI - 川口の盆栽と安行の四百年 -	12/6 - 12/10 第55回川口市特別支援学級合同作品展	1/7 - 1/14 新春企画展<2024 アートな年賀状展> (●関連ワークショップ:1/14)	1/17 - 1/21 川口の美術家たちのアートな毎日	3/9 - 3/24 アトリアの春祭り(仮)
	12/21 - 12/22 透明水彩で「木々」を描く - 水彩技法を学ぶ -	1/27 - 2/4 中学生の ART CLUB 展	2/8 - 2/11 川口市小・中・高校書きぞめ展覧会	2/17 - 2/25 川口の図工美術まなび展

●...展覧会 ●...ワークショップ ★...講座 予定は変更する場合があります。詳細や貸しギャラリーの展示情報については、アトリアホームページをご確認ください。

スタッフのこぼなし テーマ: 美術に興味をもったきっかけ?

絵を描くことが好きだったから。道具も宝物のように輝いて見えました。

学芸員 H.Y.

小学生時代、当時流行っていたシール帳のイラストを模写したら、友達に欲しいと言ってくれたこと。自分の絵で喜んでくれた事で、美術が好きに。

学芸員 A.M.

兄に水墨画の展示に連れて行ってもらい、墨だけで豊富な表現をしているすごいと思ったから。

学芸員 K.M.

小さい頃に読んだ絵本のカラフルな世界にわくわくしたこと。絵の具や色鉛筆で色を沢山使って絵を描くのが大好きなこともでした。

学芸員 T.T.

SNSやってます! 企画展・イベントの最新情報やレポートを発信中! フォローをお願いします!

Instagram...@art-gallery-atlia

日々のギャラリーでの出来事や、イベントのレポートを更新中。アトリアの雰囲気を覗いてみてください!



LINE

ギャラリーに関する様々な情報を配信中。ご質問やお問い合わせもお気軽にどうぞ!



X(旧 Twitter)...@artatlia

企画展やワークショップ、イベント等、アトリアの最新情報はこちらをチェック!



Facebook

Facebookも更新中! こちらもぜひご覧ください。



川口市立アートギャラリー・アトリア

開館時間...10:00～18:00(最終入場17:30)

休館日...月曜日(祝日の場合は翌火曜)、年末年始、施設整備期間

駐車場はありませんので公共交通機関をご利用下さい
JR川口駅(京浜東北線)東口より徒歩約8分

〒332-0033 埼玉県川口市並木元町1-76
TEL 048-253-0222

https://atlia.jp/



編集後記

アトリアでは、小中高校の展示もたくさん予定しています。ぜひ、ご家族やお友達同士で足を運んでみてください!

川口市立アートギャラリー・アトリア ATLIA NEWS for TEENS
編集:岡村春香、吉田ひとみ、溝口亜紗、武井智子、宮澤和気
発行日:2023年10月
発行:株式会社21世紀文化芸術研究室

プロダクトデザイナー 長崎綱雄さん



〈性質の彫刻〉ピー玉

——その専門学校に入られたのですか。
 大学3年生の春休みにその専門学校を一応受験したのですが、当然落ちてしまいました。合格するためには、デザインや色彩構成など、受験用の勉強が必要だったんです。そんなことを全く知らず、石膏デッサンといって白い彫刻を観察して描く試験では、隣の人の解答用紙は信じられないくらい真っ黒に描き込まれていたけど、僕のは真っ白そのうえ、色彩構成は訳が全く分から

——「性質の彫刻」の説明文に書かれている「モノに備わっている価値を見出すこと、それはすなわち生きる」という言葉がとても印象的です。
 僕は、モノも人も同じなのだと考えています。シャープペンの例のように、意図された目的や用途ではないけれど、当たり前のように人が利用しているようなモノが本来持っているながらも見過ごされてしまつような価値や、気にも留められ

〈性質の彫刻〉シャープペン

BRANCH

長崎さん主宰
クリエイティブユニット
http://branch-2018.com/

2023年10月現在、21_21 DESIGN SIGHT 企画展「Material, or」にて〈性質の彫刻〉を出品中。
2023/11/5まで(港区東京ミッドタウン)

〈性質の彫刻〉シャープペン

BRANCH

長崎さん主宰
クリエイティブユニット
http://branch-2018.com/

——長崎さんは文系の大学を出てから、美術大学に入り直されたそうですね。どんなきっかけがあったのでしょうか。
 もともと図工や美術の授業は好きで得意だったのですが、父が文筆家だったこともあり、将来は自分も新聞社や出版社で記者にでもなるのだからとほんやり考えていました。しかし、最初の大学の3年生の時、就職活動を始めようかという頃、家族でよく行っていた焼肉屋さんで日本画が飾ってあったんですね。絵を見ながら「いいよなあ、こういうの」と僕が何気なく言ったら隣にいた父が「じゃあ、そつう仕事につけばいいじゃない」と。その一言がきっかけとなり、何が美術に関する仕事をしたいと考えるようになりました。最初からプロダクトデザイナーになんたかったわけではなかったんです。知人に相談したら、都内にある有名なデザインや建築の専門学校に入り直せば、美術にまつわる仕事ができる会社で働けるのではと教えてもらいました。

——予備校で絵を描くことを学ぶのはとても楽しくて、講師では高く評価してもらえることが多くなっていました。どんな技術が上達するにつれて、先生が美術大学の進学を勧めてくれました。ただ僕はその頃、世の中に美術大学があるということすら知らなかったのですが(笑)。たまたま僕が受験する年に、武蔵野美術大学に編入学制度ができたんですね。金銭的にもあまり親には迷惑をかけられないと思っていただけで、編入なら大学3年生から始まって2年間で卒業出来ることもあって美術大学に進学することも視野に入れることにしました。受験する学部を決めるときも、フアンアート*とデザインがどう違うかがあるかも知れなかったけれど、就職を前提とするならデザインかな、という感じでデザインを学べる造形学部を選びました。

——アートでは「性質の彫刻展」を開催していただきました。紙と紙のわずかな隙間にピー玉が並んだ作品や部屋の角にホウキを立てかけた作品など、モノや環境の性質を利用した作品の数々を楽しませていただきました。
 例えば、シャープペンはそもそも字を書くという目的で作られたものですが、本にはさんでしおりの代わりにしたり、シャープペンの先でかゆいところを掻いたりできますよね。こういった細かい形状や芯の硬さといった、モノに備わっている特有の性質を利用して〈性質の彫刻〉という作品が生まれました。

——ありがとうございます。
 (取材・岡村春香)
 *フアンアート：「コマ」シャープペンなど、商業美術*に対して、芸術的な意図のもとに制作されたものとしての美術。 絵画・彫刻・建築を。(天谷祥林より)

美術大学の存在すら知らなかった

川口市出身の長崎綱雄さんは、NAOTO FUKASAWA DESIGN のデザイナーとして今年G7 広島サミットで使用された椅子「HIROSHIMA」や Panasonic のユニットバス「i-X」のデザインに携わるなど、長年プロダクトデザインの第一線で活躍しています。

アトリアでは、8月20日から2週間、長崎さんが主催するクリエイティブユニット BRANCH による「人とデザインのはなし 性質の彫刻展」を開催しました。最終日の長崎さんによる講座とワークショップは、参加者の皆さんから大変好評を博しました。国際的にも高い評価を受ける長崎さんに、プロダクトデザイナーとはどんなお仕事なのか、またどんなことを考えながらデザインと向き合っているのか、お話を伺いました。



21_21 DESIGN SIGHT 企画展「Material, or」にて 協力：株式会社テラモト

ながさき つなお 長崎 綱雄

1970年東京都生まれ。川口市立朝日東小学校、元郷中学校卒業。1993年早稲田大学教育学部卒業。1995年武蔵野美術大学造形学部卒業。

株式会社岡村製作所を経て、2003年より NAOTO FUKASAWA DESIGN に勤務。2020年取締役就任。株式会社マルニ木工「HIROSHIMA」やパナソニック株式会社「MODIFY」「i-X」などのプロダクトデザインに携わる。2021年より多摩美術大学美術学部統合デザイン学科教授。2018年よりクリエイティブユニット BRANCH 主宰。



〈性質の彫刻〉けん玉

——プロダクトデザイナーとは、どういうお仕事なのでしょう。
 プロダクトデザイナーとは、プロダクトつまり工業製品のデザインをする仕事です。車や飛行機、医療機器などいろいろな工業製品がありますが、僕は家電や家具、住宅設備機器のデザインをメインに行っています。2003年からNAOTO FUKASAWA DESIGN(ナオトフカサワデザイン)で深澤直人さんと一緒にデザインをさせてもらっていますが、これまでにパナソニックの照明器具やキッチン、ユニットバス、無印良品の調理家電、マルニ木工の椅子やテーブルといった製品のデザインに携わってきました。

——デザインというのと、とてもかっこいいお仕事だというイメージがあります。実際は、作業着を着て粉だらけになって試作を作ったり、依頼主に提案するための資料を作ったりと、ほとんどが地味で地道な作業です。一般的にデザイナーという、クールなデザインや、奇抜で刺激的な強いデザインを考えている華やかな人たちというイメージを持たれることも多いのですが、それは全く違うんです。

——長崎さんがこれまで携わってきた製品を見ると、シンプルだけど、不思議と魅かれるような感覚を覚えます。見た目の美しさというのも、心地良さの一部ですよね。なので、「美しい」とはどういうことなのか、「美しい」とは日々考えています。そういうことを考えることが好きで、そこからカタチやアイデアが結実したりすることもあります。

アトリアHP

詳細はホームページ (https://atlia.jp/) や広報かわぐちをご確認ください。
 ※ 記載している予定は、令和5年10月時点のものです。事情により変更する場合があります。

新春企画展 <2024 アートな年賀状展>
 市民の手作りのオリジナルティ溢れる年賀状を展示します。
 展示期間： 2024年1月7日(日)～1月14日(日)
 出品対象： どなたでも
 出品申込： 2023年12月26日(火)【必着】までに 〒332-0033 並木元町 1-76 アートギャラリー・アトリア 「アートな年賀状展」係へ
 ※ 持参の場合…12/28(木)までに開館時間中に窓口へ
 ※ 詳細は、HP・広報かわぐち(12月号)にて

川口の美術家たちのアートな毎日
 川口市美術家協会による絵画や立体作品・書などを展示します。
 期 間： 2024年1月17日(水)～1月21日(日)(入場無料)

川口市内の小・中・高校の展覧会 (入場無料)
 中学生のART CLUB 展 2024年1月27日(土)～2月4日(日)
 川口市小・中・高校書きぞめ展覧会 2024年2月8日(木)～2月11日(日)
 川口の図工美術まなび展 2024年2月17日(土)～2月25日(日)

関連ワークショップ「辰の冒険すごろく」
 2024年の干支「辰」にちなんだすごろくを作り、みんなで遊びます。
 日 時： 2024年1月14日(日)(要予約、有料)

アートギャラリー・アトリアの今後のイベント

- ワークショップ**
- 展覧会**
- 川口市制施行 90周年・旧田中家住宅 100周年記念展覧会**
盆栽 BONSAI - 川口の盆栽と安行の四百年 -
 川口安行の地域に脈々と息づく盆栽と盆栽師たちの技を紹介します。関連のイベントも多数用意しています。是非ご来場ください。
 期 間： 2023年11月3日(金・祝)～11月26日(日)
 入 場： 二館共通 大人500円、学生300円、中学生以下無料
- 第55回川口市特別支援学級合同作品展**
 市内特別支援学級の児童生徒の、絵画や手芸など作品を展示します。
 期 間： 2023年12月6日(水)～12月10日(日)
- 透明水彩で「木々」を描く - 水彩技法を学ぶ -**
 「透明水彩」の特徴や使い方、技法を学び、1枚の絵を描きます。水の性質をいかした偶然性や色の混ざりは瞬間的な楽しさや感動を楽しめます。
 期 間： 2023年12月21日(木)、12月22日(金) 対象：大人のみ